

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		利用児童の特性に応じた視覚支援や、年齢・発達段階に応じた物の配置や導線づくりに努め、定期的に見直しをおこなっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃に加え、室内には空気清浄機・加湿器を設置し、清潔な空間を保てるよう努めております。また、当日の利用児童に合わせた環境設定をおこない、心地よく過ごせる環境づくりに努めております。療育終了後には使用教材の洗浄・除菌を毎日実施し、衛生管理を徹底しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて、別室で個別対応をおこなっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎日の清掃に加え、室内には空気清浄機・加湿器を設置し、清潔な空間を保てるよう努めております。また、定期的に会議を開催し、評価や課題分析、日々の振り返りや業務改善についても協議し、共通理解に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケートを配布し、ご意見・ご意向を把握することにより、改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日、サービス提供前に職員全体で集まり、利用児童の支援について話し合う時間を設けております。また、定期的に会議を開催し、評価や課題分析、日々の振り返りや業務改善についても協議し、共通理解に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内研修は定期的におこなっております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		個別支援計画の作成前にアセスメントを実施しています。定期的な保護者様との面談により、利用児童の状況や課題を確認し、支援計画に反映しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定期的に会議を開催し、評価や課題分析、日々の振り返りをおこないながら、職員間で共通理解を図っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		作成された一人ひとりの支援計画内容は職員全体で周知・共有し、日々の支援を提供しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたアセスメントツールを使用し、保護者様のご意見・ご要望・児童の状況をもとに聞き取りによる確認を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援ガイドラインを遵守しています。利用児童の特性に合わせた項目を選択し、必要な具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		支援計画をもとにチームで立案・役割分担をおこない、協力して支援を実施しております。立案内容については日々話し合いを重ね、改善を図りながらより良い支援提供に努めております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節を取り入れた制作や行事、個別療育以外の小集団療育等、利用児童の状況に合わせた日々の内容・支援をおこなっています。また、COMPASS 他事業所との情報共有や専門職の手法等、多彩な趣向を凝らした支援をおこなっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々の発達段階に応じた計画に基づき、個別活動と集団活動を適切に組み合わせさせて支援をおこなっております。PDCAサイクルに基づき、定期的に確認・見直しをおこなっております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日、その日の職員全体での打ち合わせをおこない、職員配置や環境設定をおこなっています。その日の担当児童のみならず、利用児童全員に対して共通理解を持ち、支援をすることができるよう、情報共有に努め、連携を図っています。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	支援翌日の朝、前日の支援に対し、成功点・工夫・気になる点等を出し、次回利用時の支援につなげています。勤務時間・業務の都合により、参加できない場合もあるので、伝えあいや連絡ノート等で工夫し、共有ができるようにしています。	今後も振り返りと情報共有を大切にし、全職員が確実に共有できる体制づくりに努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の療育内容や体調、生活状況の変化などの気づきを記録し、職員間および保護者様へ報告しております。また、保護者様との連絡帳や口頭でのやり取りを通じて情報を共有し、支援の検証・改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリング・面談の実施にて、保護者様からのご要望を取り入れながら児童の状況を把握し、計画の見直しをおこなっています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画し、会議の内容については職員全体で共有しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係機関とは連携し、必要に応じて情報共有や相談をおこなっています。	
関係機関や保護者との連携	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者様を通じて情報を共有し、必要に応じて関係機関の先生方と連携を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	保護者様を通じて発信し、必要毎に関係機関の先生方と連携をとっております。	今後も関係機関との連携を大切にし、支援内容等の情報共有と相互理解に努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5	現時点では、設けておりません。	今後は、外部での研修等への参加を検討してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		現時点では、個人情報等の観点から、外部との交流の機会が実施できておりません。	今後は、保護者様のご意向をうかがいながら、交流機会を検討してまいります。
	33	日頃かこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		通所時や送迎時に保護者様からご相談をいただく機会が多く、園やご家庭での様子をうかがいながら助言をおこなっております。また、事業所からも気づいた点をお伝えすることで、状況や課題についての共通理解につなげております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		現時点では、ペアレントトレーニング等は実施しておりません。	今後は、保護者様のご意向を伺いながら検討してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時にご理解いただけたか確認を取りながら、説明させていただいております。	
保護者への説明	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談・アセスメントにて保護者様のニーズ聞き取りや課題を明確に捉えた後、職員周知のうえで意見を出し合い、客観的に分析し、支援計画が作成されております。計画の見直しは、ご要望にお応えし、その都度おこなうことが可能です。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		保護者様とお話の中でガイドラインに沿った支援計画を立て、その計画に対して、ご意向・課題に相違ないか確認しながら、充分な説明のうえ同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡帳、送迎時、電話対応などのコミュニケーションツールを活用し、保護者様の困りに気づけるよう努めております。また、ご希望に応じて個別で家庭訪問や事業所内での相談時間を設け、必要な支援や助言をおこなっております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		現時点では、実施予定はありません。	今後は保護者様同士の連携が支援できるような活動等の開催を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		保護者様からの申し入れやご相談に対しては職員全体で共有し、状況を整理したうえで迅速かつ適切に対応できるよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		COMPASSだよりを季刊で発行し、毎月のお便りも作成して保護者様へ配布しております。また、公式WebサイトのブログやYouTubeの療育チャンネル、各種SNSを通じて情報発信をおこなっております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく書面やイラスト、提示カードのさまざまな手段を活用して情報伝達に配慮しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		現時点では、個人情報等の観点から外部との交流の機会が実施できておりません。	今後は保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルは保護者様にも確認していただきやすいよう事業所玄関に掲示し、周知に努めております。また、発生を想定した訓練を定期的の実施し、訓練後は職員間で振り返りをおこない、改善につなげております。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に火災・地震・風水害・不審者対応訓練を実施し、訓練後は職員間で振り返りをおこない、共通理解と改善に努めております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	7		契約時および必要に応じて保護者様に確認をおこない、職員全体で情報を共有しております。対応については児童発達支援管理責任者の責任のもと、適切に実施できるよう徹底しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	現在、対象となる利用児童がいないためおこなっていませんが、アレルギーのある児童については、保護者様よりアレルギー調査票にて確認をおこない、アレルギー一覧を作成し、職員全体で把握して対応をおこないます。	今後、対象児童が通所した場合には、個別の対応マニュアルを作成し、慎重かつ適切な対応に努めてまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を策定し、事業所内に掲示しております。計画に基づき、点検や訓練を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づく取組内容について、保護者様へ周知できるような努めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		ヒヤリハット事例は都度記録を作成し、定期的に会議で共有・検討し、再発防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		事業所内にて定期的にマニュアルに沿った職員研修を実施し、適切な対応が継続できるよう努めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		利用契約書において原則として身体拘束は禁止しておりますが、やむを得ず必要となる場合には、保護者様へ十分に説明し、承諾を得たうえで支援計画に記載するよう努めております。	